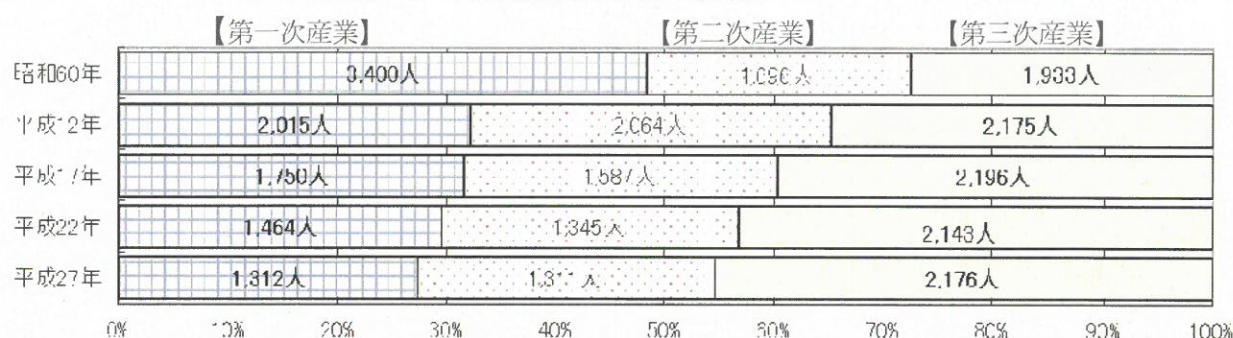


1.5 経済的特色

1.5.1 産業別人口

本町の産業別の就業人口の割合は、平成27年で第一次産業就業人口27.3%、第二次産業就業人口27.3%、第三次産業就業人口45.3%となっている。その推移を見ると平成17年には第一次産業就業人口1,750人から1,312人、第二次産業就業人口1,587人から1,311人、第三次産業就業人口2,196人から2,176人となっており、全体として第一次産業及び第二次産業から第三次産業への就業構成の移行が進んでいる。

図表 6 産業別就業者数の推移



出典：国勢調査等

図表 7 産業別就業者数の推移

年		平成17年		平成22年		平成27年	
単位		人	比率	人	比率	人	比率
第1次産業	農業	1,685	30.4%	1,405	28.3%	1,239	25.8%
	林業	65	1.1%	59	1.1%	73	1.5%
	漁業	0	0%	0	0%	0	0%
第2次産業	鉱業	2	0.1%	14	0.3%	2	0.1%
	建設業	747	13.5%	584	11.8%	631	13.1%
	製造業	838	15.1%	747	15.1%	678	14.1%
第3次産業		2,196	39.7%	2,143	43.2%	2,176	45.3%
分類不能		2	0.1%	4	0.2%	2	0.1%
総就業人口		5,535	100%	4,956	100%	4,801	100%

出典：国勢調査等

1.5.2 事業所数

本町には387の事業所があり(平成26年)、産業大分類別の内訳を見るとサービス業が36.6%、次いで卸売小売業が28.6%、建設業12.6%、製造業6.7%、農林水産業6.4%等となっている。こうした状況から町内で発生する産業廃棄物系バイオマスは食品系バイオマスや建設廃材、農林関係バイオマスが比較的が多いものと推察できる。

図表 8 業種別事業所数の推移

産業(大分類)別事業所数・従業員数(民営) (単位:事業所、人) 各年7月1日現在

産業大分類	事業所数				従業員数			
	昭和61年	平成21年	平成24年	平成26年	昭和61年	平成21年	平成24年	平成26年
総数	631	469	411	387	3,553	3,693	2,801	2,846
農林水産業	20	25	25	25	235	542	240	258
鉱業	1	—	—	—	X	—	—	—
建設業	72	57	51	49	628	426	429	401
製造業	32	29	26	26	682	605	696	614
電気・ガス・熱供給・水道業	2	2	—	—	X	14	—	—
運輸・情報通信業	17	13	14	12	136	156	168	155
卸売小売業	195	136	126	111	775	606	536	511
金融保険業	6	4	5	5	44	22	29	33
不動産業	19	17	21	17	7	27	43	26
サービス業	151	175	143	142	846	1,152	660	848

出典: 岩手県軽米町町勢要覧等資料編

2019 データファイル

1.5.3 農業

本町の基幹産業は農業であり、農業産出額は概ね横ばい傾向で推移しており、平成27年度では85億円強となっている。

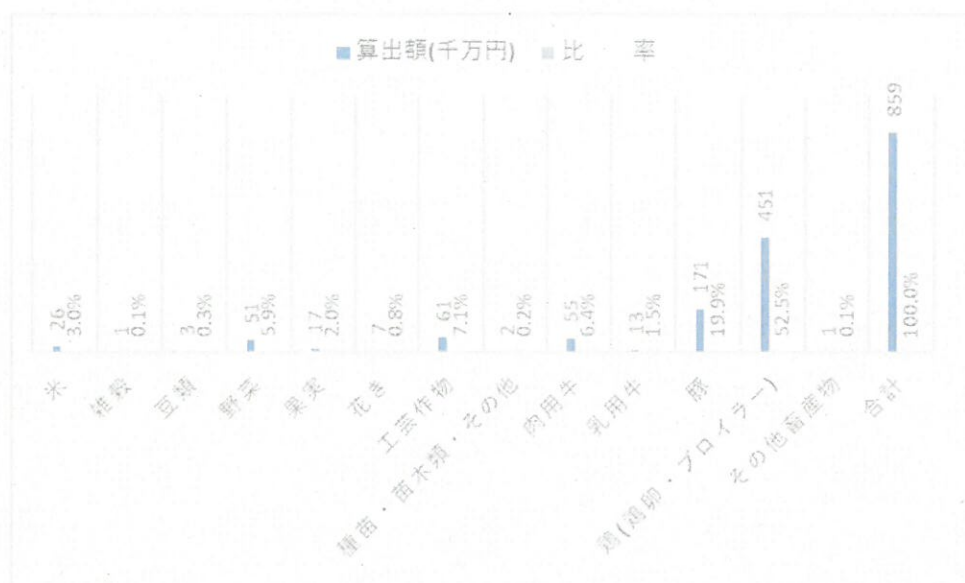
内訳は鶏(鶏卵・ブロイラー)が最も多く45億円(52.5%)、次いで豚(19.9%)、工芸作物(7.1%)等となっている。

畜産系及び農業系バイオマスとして、鶏ふん、豚ふん、牛ふん及び農業廃プラ、植物残さ(稲わら・もみ殻・葉タバコ茎・ホップつる)などが多く発生していると推察でき、こうした資源の有効活用を図っていくことが重要である。

図表 9 農業産出額(平成27年度)

耕種	算出額(千万円)	比率
米	26	3.0%
雑穀	1	0.1%
豆類	3	0.3%
野菜	51	5.9%
果実	17	2.0%
花き	7	0.8%
工芸作物	61	7.1%
種苗・苗木類・その他	2	0.2%
肉用牛	55	6.4%
乳用牛	13	1.5%
豚	171	19.9%
鶏(鶏卵・ブロイラー)	451	52.5%
その他畜産物	1	0.1%
合計	859	100.0%

※100%にならない場合があります。



出典：●都道府県統計書・累年統計表、わがマチわがムラ（農林水産省ホームページ）等

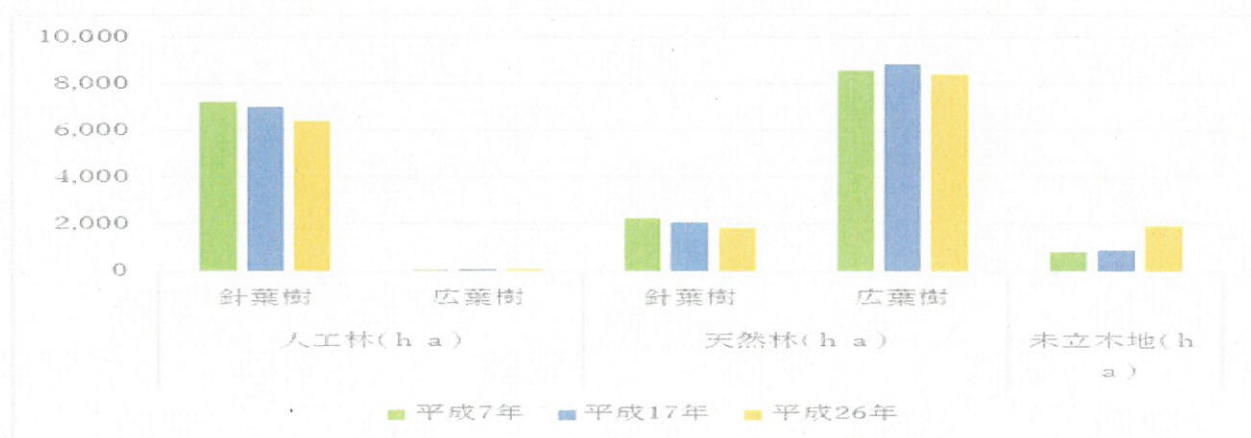
1.5.4 林業

本町の森林面積は平成 26 年度では総面積 18,721ha であり、全てが民有林となっている。

また、樹種別面積の約 55%が天然林で、うち広葉樹が 8,424h a (82%)を占めている。木材価格の低迷や林業労働者の高齢化などにより、適正な管理が遅れている森林が多くなっている。

図表 10 森林面積の保有者形態別割合および樹種別割合

年 度	人工林(h a)		天然林(h a)		未立木地(h a)
	針葉樹	広葉樹	針葉樹	広葉樹	
平成 7 年	7,237	56	2,258	8,572	842
平成 17 年	7,026	84	2,103	8,857	900
平成 26 年	6,411	91	1,861	8,424	1,934



出典：●岩手県林業動向年報

1.5.5 商業

本町の小売業は、事業所数、従業者数ともに減少傾向にあるが、こうした中で、年間商品販売額が増加傾向にある。

この要因として、本町においてメガソーラー施設整備など再生可能エネルギー関連事業が始まったことによる町内商店等の利用拡大が主な要因として考えられる。

図表 11 商業の動向

項 目	事業所数	従業者数	年間商品販売額	売場面積
単 位	箇所	人	百万円	m ²
平成 19 年	115	450	10,500	2,300
平成 28 年	99	363	12,464	1,980

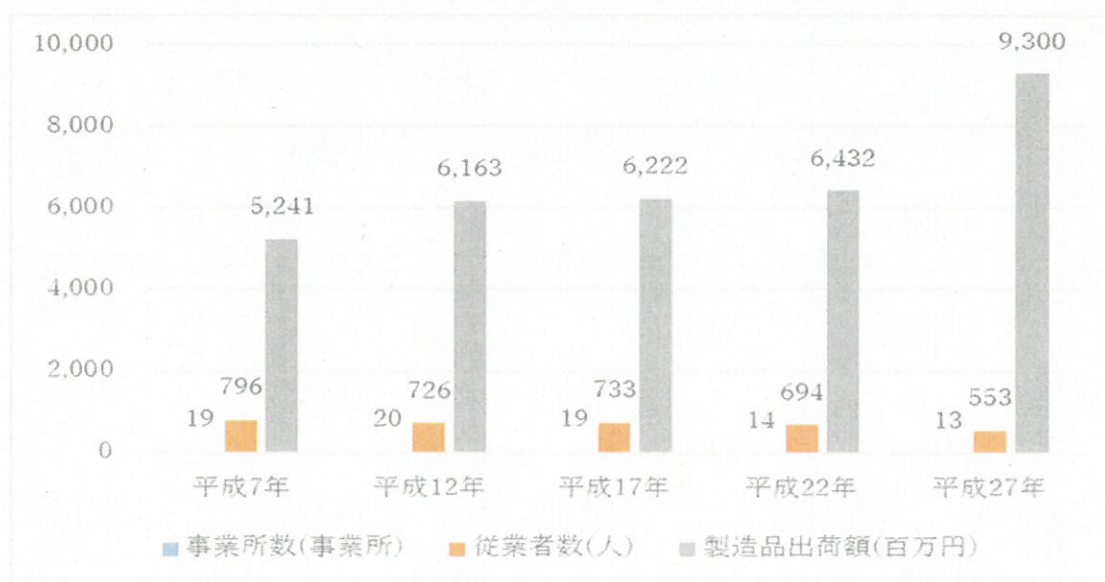
出典：商業統計調査等

1.5.6 工業（製造業）

本町の製造品出荷額の 90%が食料品等となっており、そのほとんどが養鶏産業であり、養鶏施設の拡大整備により年々出荷額が増加傾向にある。

こうした背景から動物系バイオマスなどが安定発生していると推察できる。

図表 12 製造品出荷額等の推移（単位：百万円）



出典：工業統計調査等

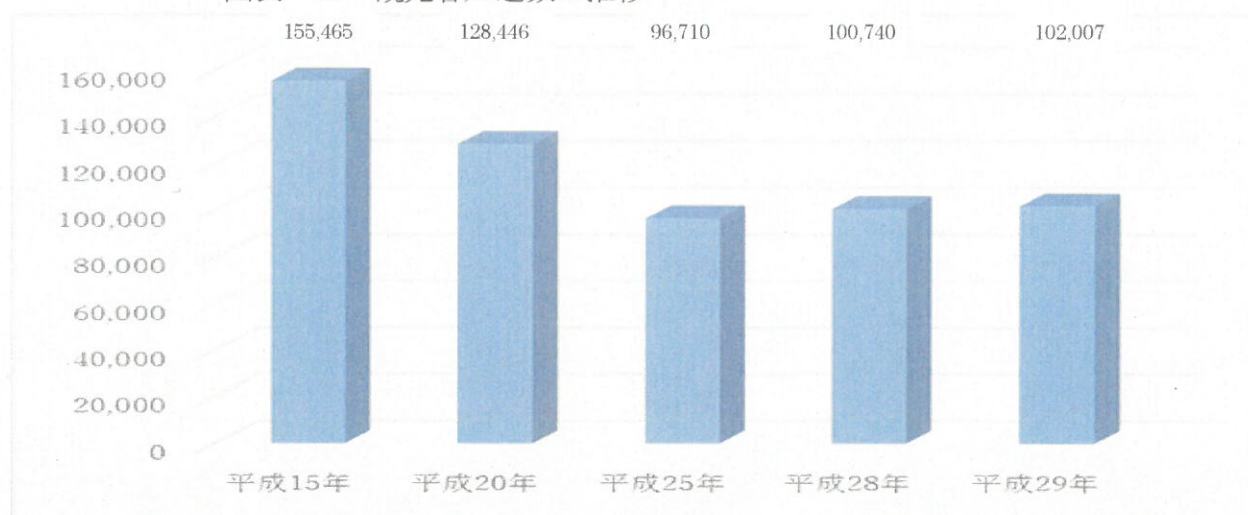
1.5.7 観光

本町の観光資源としては、約 15 万本の色彩あふれるチューリップ園をメインとした雪谷川ダ

ムフォリストパーク・軽米、ソバ打ち体験のできるミレットパークが中核的な施設であるが、年間約10万人の観光客が訪れている。

今後バイオマス活用温浴施設等の整備やメガソーラーなどの施設を観光資源とした誘客活動により観光入込数の増加を目指す。

図表 13 観光客入込数の推移



出展：軽米町統計資料

1.6 再生可能エネルギーの取組

本町は、再生可能エネルギー施設の導入促進等による町の活性化を目指し、平成27年に農林漁業の健全な発展と調和のとれた再生可能エネルギー電気の発電の促進に関する法律に基づく「軽米町再生可能エネルギー発電の促進による農山村活性化計画」を策定し、農林業の健全な発展と調和のとれた再生可能エネルギー施策を推進している。平成30年度末現在で稼働している件数は24件、出力数合計約16,363kWである。

再生可能エネルギーの種類別状況は、バイオマス発電については、鶏ふんを資源とした施設1件、6,250kW、太陽光発電は、15件（すべて民間）、7,404kW、地熱発電は、2件、608kWとなっている。また、現在、民間による太陽光発電施設3件、194,000kW、風力発電1件、1,900kWの施設整備の途上にある。

図表 14 再生可能エネルギー発電施設の設置状況

再生可能エネルギーの種類	施設名称等	発電能力(kW)	設置主体	設置年度
バイオマス発電	(株)十文字チキンカンパニーバイオマス発電所（鶏ふん燃焼発電）	6,250	民間	平成28年度
太陽光発電	個人住宅等(15件)	7,404	個人・民間等	平成22年度～平成28年度
	市町村有施設 軽米小学校	15	町	平成25年度
	小軽米小学校	15	町	平成26年度
	晴山小学校	15	町	平成26年度

	軽米中学校	15	町	平成 26 年度
	軽米町役場庁舎	41	町	平成 27 年度
	軽米西・東メガソーラー (株式会社 レノバ)	118,000※	民間	令和 1 年度予定
	軽米尊坊ソーラー (株式会社 レノバ)	40,000※	民間	令和 3 年度予定
	軽米西山ソーラー (株式会社 日本再生可能エネルギー インフラ投資法人)	2,000	民間	平成 28 年度
	軽米高家ソーラー (株式会社スカイソーラージャパン)	36,000※	民間	令和 5 年度予定
地熱発電	軽米町役場庁舎	228	町	平成 27 年度
	軽米小学校	380	町	平成 24 年度
風力発電	くろしろ風力発電株式会社	1,900※	民間	令和 2 年度予定

出典：町農山村活性化計画等

※印：今後設置予定の取組

2 地域のバイオマス利用の現状と課題

2.1 バイオマスの種類別賦存量と利用量

本町におけるバイオマスの種類別賦存量と利用量を次表及び図のとおりである。

図表 15 地域のバイオマス賦存量及び現在の利用状況

バイオマス		賦存量(平成 28 年度)		変換・処理 方法	利用量		利用・ 販売	利用率 (炭素換算 量)%
		(湿潤量) t/年	(炭素換算量) t-c/年		(湿潤量) t/年	(炭素換算量) t-c/年		
廃棄物系バイオマス		151,512	9,346		136,799	8,242		85
	家畜排せつ物	142,891	8,526		128,912	7,692		90
	肉牛ふん尿	19,100	1,140	堆肥	19,100	1,140	堆肥	100
	乳牛ふん尿	4,700	280	堆肥	4,700	280	堆肥	100
	ブロイラーふ ん	軽米町分 93,191 (他市町村分 173,000)	5,561	堆肥、燃料	79,212	4,727	堆肥、 燃料	85
	豚ふん尿	25,900	1,545	堆肥	25,900	1,545	堆肥	100
	食品系廃棄物(生 ごみ)	7,233	310		7,233	310		100
	産業廃棄物系	6,536	280	焼却処分	6,536	280	焼却処 分	100
	一般廃棄物系	697	30	飼料	697	30	飼料	100